

## 1. 就職

### (1) 就職支援のための教職員の組織整備・活動

①本年度から英語学科、生活科学科食物栄養専攻(以下「食物栄養専攻」と記す)、生活科学科福祉こども専攻こども保育コース(以下「こども保育コース」と記す)、生活科学科福祉こども専攻福祉デザインコース(以下「福祉デザインコース」と記す)及びキャリア相談室職員で構成する「進路部」を組織した。同部会では、毎月の定例会を開催し、学生の就職に関する情報(内定率、受験先企業等)をはじめ、進路部ガイダンス、学内企業説明会や内定者報告会等の企画・検討を行った。

②進路部部长とキャリア相談室職員とにおいて「就職ハンドブック」の改訂案を取りまとめ、進路部部会で検討した。

### (2) キャリア相談室の整備と学生の就職支援

①本年度よりキャリア相談室の職員を1名増員したこと等により、個別面談は延べ約1,800名の学生に対応することが出来た。

②エントリーシート、履歴書、小論文・作文の添削、面接の留意点等についての個別支援を実施した。

③1年、2年の学年別に企業担当者、OGのアドバイス、内定者報告会などのガイダンスを実施した。

④学内での企業説明会を開催すると共に、本年度より合同企業説明会に参加する学生の負担を軽減するなどを目的に「バスツアー」を実施した。(5回・延べ145名参加)

⑤県中小企業家同友会との協働で地元中小企業の経営者との懇談会を実施した。

⑥ハローワーク福島との協力により「出張ハローワーク相談」を開催した。(7・10・11・12・2月:33名の学生が来室)

⑦266件の求人情報をキャリア相談室内に掲示すると共に、掌握している学生の希望就職先に基づき、個別に求人情報を提供した。

⑧プロの美容師による「メイクアップゼミ」を全体及び個別指導に分けて実施した。

(7回)

⑨卒業生への就職活動に対する支援を行った。(5名が採用決定)

### (3) 就職のための資格取得、就職試験対策等の支援

①筆記試験対策として、一般企業と公務員試験対策講座を合わせて52回、121.5時間にわたり開催した。

### (4) 卒業時の就職状況を分析・検討し、学生の就職支援に活用

平成22年度の就職活動は、平成20年の世界的な金融危機で落ち込んだ大企業の業績が回復したものの、新卒者にとっての厳しい状況は一向に変わらなかった。

さらに、3月11日に発生した東日本大震災後は、企業側における採用活動の取り止めや延期等もあり、いわゆる学生の就職「超氷河期」とまで言われたなかでの大変厳しい就職活動であった。

こうした全国的な状況下における本学学生の就職状況については、「平成22年度卒業生の進路状況」のとおりである。過去5年間にわたり平均就職内定率が90%を超える高い数値で推移してきたなかで、本年度においても同程度の実績を残すことが出来たのは、学生一人ひとりの諦めない頑張りや努力に加えて、進路部関係教職員相互の連携によるところが大きいと思われる。

また、東日本大震災等により内定取消しとなった卒業生はなかったが、21名

が半月から3ヶ月の自宅待機となった。

①平成22年度卒業生の進路状況（全体概要）

単位：名

内 訳		英語学科	福祉デザイン	こども保育	食物栄養	計	前年度末実績
卒業生数		87	15	48	54	204	222
就職希望者数		61	12	44	51	168	176
就職者数		57	12	44	50	163	170
内 訳	県 内	42	11	32	33	118	130
	県 外	15	1	12	17	45	40
	正規雇用	49	7	37	36	129	128
	非正規雇用	8	5	7	14	34	42
全体就職率（%）		93.4	100.0	100.0	98.0	97.0	96.6
（正規雇用就職率）		86.0	58.3	84.1	72.0	79.1	75.3
編入学希望者数		16(14)	2(2)	1(1)	1(1)	20(18)	22(21)
留学希望者数		0	0	0	0	0	3
専門・短大希望者数		4(4)	1(0)	0	0	5(4)	9
その他（家業等）		6	0	3	2	11	12

（ ）内は決定者数

\*参考：求人件数の推移

H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	H18年度
264件	206件	287件	181件	163件

\*卒業生の専門職の就職状況

	こども保育コース	食物栄養専攻	備 考
就職者数 A	44名	50名	県外就職者 こども保育 12名 食物栄養 17名
専門職就職者数 B	42名	32名	
内 訳	幼稚園教諭 16名	栄養士 32名	
	保育士 26名		
専門職就職率 B/A	95.5%	64.0%	

②全体の就職者数163名について、内定（内々定）の時期を四半期毎にみると次のとおりとなっている。就職活動への早期の取り組みを促していくことが必要。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
平成22年度	10	19	61	73	163
平成23年度	16	18	46	90	170

## 2. 編入および留学

本年度の編入学先は次の通りです。2大学に合格した学生は1名、3大学に合格した学生は1名です。地元である福島大学への編入学志願者は3学類で17名で、人間発達文化学類には6名中1名合格、経済経営学類は2名が受験したが不合格、行政政策学類は9名中5名が合格し合格者全員が入学しました。

経済的事情などから例年通り福島大学への編入を目指す入学者が多く、編入希望者の場合、英語学科に在籍していても必ずしも全員が英語が得意なわけではなく、小論文の結果が合格を左右する傾向が顕著になっています。英語だけでなく幅広い教養を身につけることが英語学科の編入希望者には必須です。特に宇都宮大学国際学部を志望する英語学科の学生にとって、小論文と面接のみが科せられるため、小論文対策は重要となります。埼玉大学に合格した学生は、継続的に英文指導を受けていたことが複数校合格につながったので、今後は英文講読の指導もさらに強化していきます。

また、22年度に際立ったのは、福祉デザインコースから筑波大学と宇都宮大学への合格者が出たことです。これは、志望の理由の明確さ、面接時の表現力が重視されている結果といえます。社会人として必要とされるコミュニケーション力を有する受験生が編入学でも結果を出しているのです。同じ生活科学科福祉こども専攻の編入希望者は、編入のための学習が学力強化につながり、国立大学編入と公務員試験を併願し、編入不合格であっても地方自治体の試験に合格して将来を切り拓き、悔いない進路結果となりました。

また、留学に関しては、経済的な理由などにより、卒業後短期間働いたのち正規の留学やワーキングホリデーで渡航を希望する者が数名見られる。

大学名	学部	学科・専攻	人数	
			合格	入学
筑波大学	情報学群	知識情報・図書館学類	1	1
宇都宮大学	国際学部	国際社会学科	1	1
埼玉大学	教養学部	文化環境専修課程	1	0
山形大学	人文学部	人間文化学科	1	1
福島大学	人間発達文化学類		1	1
福島大学	行政政策学類		5	5
岩手県立大学	社会福祉学部	福祉経営学科	1	1
東北学院大学	文学部	英文学科	1	1
石巻専修大学	理工学部	生物生産工学科	1	1
宮城学院女子大学	学芸学部	英米文化専攻	1	1
共立女子大学	国際学部	国際文化コース	1	0
東京女子大学	現代教養学部	人間文化学科	1	1
日本社会事業大学	社会福祉学部	福祉援助学科	1	0
麗澤大学	外国語学部	英米文化専攻	1	1
恵泉女学園大学	人間社会学部		1	1
拓殖大学	外国語学部	英文学科	1	1
人間総合科学大学	人間科学部	健康栄養学科	1	1

(編入学合格者数21名、うち入学者18名)